

# 編集室

秋から冬へ。多摩動物公園もそろそろ「冬の景色」になりますが、秋の行楽シーズンに学生記者たちが1日を楽しみました。みんなも行ってごらんよ、という案内役も兼ねて。

二ホンザルのイモ洗い行動が幸島(宮崎)のサルから始まったのはよく知られます。英・科学者ライアル・ワトソン『生命潮流』のなかに、

《百匹目のサル》

という興味深いチームがでてきます。幸島のサルが100匹いたとして、若い1匹がおずおずと始めたイ

モ洗いを他もまねるようになって、

「百匹目」が同じ行動をとったとき、幸島だけでなく、高崎山など他地域の二ホンザルもイモ洗いをするようになった、ということです。サルの研究者からは異論もあるようですが、ある臨界点を超えると、「量が質に」転化する。そこでおきる共時的文化現象——「シンクロニシティ」などの解釈につながるでしょう。

さて、中央大学の「百匹目のサル」は？ 変化の時代に、どんな新しい風が吹くだろうかと考えるのは楽しいことです。期待もしながら。

なお、「講義の風景」は今号休載します。  
(広報課 田中紘太郎)

Hakumon

ちゅうおう

2003

冬季号

2003年(平成15年)12月1日発行 No.183

発行 中央大学広報委員会

〒192-0393

東京都八王子市東中野742-1

〈編集担当〉

広報課 ☎0426-74-2146

印刷 泰成印刷株式会社

〒130-0026

東京都墨田区両国3-1-12

☎03-3631-8141